

## 造影MR検査説明書

### 【用途・目的】

検査の部位や目的に応じて、より正確で詳しい診断のため、ガドリニウム造影剤と呼ばれる薬剤を注射で用いる場合があります。また、肝臓の検査を行う方は、肝臓専用の造影剤を用いる事があります。

### 【造影剤の使用に際し注意が必要な方】

- ヨード系造影剤やMRI造影剤に過敏症の既往歴がある方
- 気管支喘息のある方でコントロールされていない方
- 他の薬剤や食料品などに過敏症、アレルギーの既往のある方

### 【副作用について】

MRI造影剤による副作用、アレルギー様反応は、発疹やかゆみなど軽度の症状を含めた副作用は約100人に1人、呼吸困難や血圧低下、アナフィラキシーと呼ばれる重い副作用は約2万人に1人程度の割合で発生し、ごく稀には死亡例(約100万人に1人)も報告されています。

### 【腎性全身性線維症(NSF)について】

ガドリニウム造影剤は主に尿から排泄されますが、腎臓の機能が正常であれば造影剤による腎臓への影響はありません。しかし、腎機能が著明に低下した状態で使用した場合、主に遅発性の副作用として腎性全身性線維症(NSF)と呼ばれる、皮膚や筋肉、全身臓器に線維化が生じ、まれに死に至る重い合併症を来すことがあります。

NSFとは、重篤な腎機能障害の方、特に透析をされている方において、ガドリニウム造影剤の投与数日から数ヶ月後、時に数年後に皮膚の腫脹、発赤、疼痛などが急性ないし亜急性に発症する疾患です。進行すると皮膚の硬化、筋肉表面や腱などに石灰化を生じ、関節が拘縮して高度の身体機能障害に陥り、時に死亡例も報告されています。

重症、重篤な副作用が発生した場合には救命処置や入院が必要になることもあり、場合によっては後遺症が残る可能性があります。当院は副作用が発生した際には迅速な処置を行える体制を整えております。

### 【血管外漏出】

急速注入が必要となる検査や血管が脆く破れやすい場合は、造影剤が血管外に漏れる可能性が高くなります。漏れた場合は腫れや赤みを帯びたりしますが、時間の経過とともに自然に吸収されます。しかし、漏れた量が多く痺れをきたす場合には処置が必要になることもあります。

様  
様

独立行政法人  
国立病院機構

京都医療センター

## 造影MR同意書

京都医療センター院長 殿  
診療科長 殿

### ご説明内容

- ①用途、目的
- ②造影剤について注意が必要な方
- ③副作用について
- ④腎性全身性線維症
- ⑤血管外漏出

私は今回の造影検査を受けるにあたり、担当医師から上記に記載された説明(別紙:造影MR説明書)を受け、理解し納得しましたので同意いたします。また、緊急の処置が必要な場合には、適宜処置を受けることに同意いたします。尚、同意はいつでも撤回することができます。

検査内容

\_\_\_\_\_

検査予定日

\_\_\_\_\_

貴院の名称

\_\_\_\_\_

医師名

\_\_\_\_\_

承諾日

年 月 日

ご本署名

氏名 \_\_\_\_\_ 印

保護者

または代理人の署名

氏名 \_\_\_\_\_ 印

患者様との続柄( )  
※直筆の署名がある場合は印鑑は不要